



豊川市

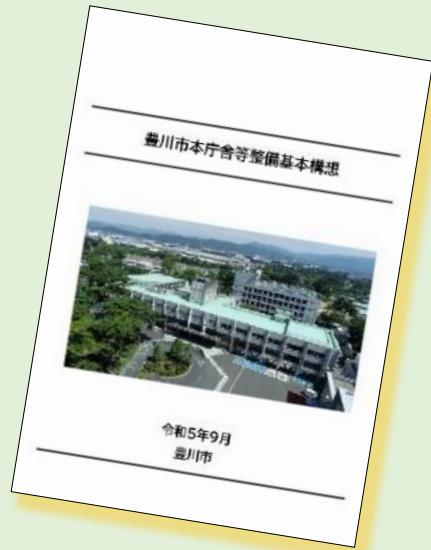
# 本庁舎等整備ニュース

vol.  
2

## 基本構想がまとめました！

策定委員会や庁内検討作業部会での検討などを経て、令和5年9月に、「豊川市本庁舎等整備基本構想」を策定しました。

基本構想では、現庁舎の現状と課題を整理し、新本庁舎に必要な機能や適正な規模などについて検討を進めるとともに、新本庁舎の目指すべき方向性など、基本計画や基本・実施設計に向けた考え方を整理しました。



### ★ 庁舎整備の基本理念及び方針 ★

新本庁舎整備の方向性を定めるにあたり、3つの基本理念を定めるとともに、基本理念を実現するための具体的な庁舎像として9つの方針を定めました。



<新本庁舎>

基本理念1

すべての人にやさしく開かれた庁舎

- 方針1 スムーズに手続きできる庁舎
- 方針2 誰もが利用しやすい開かれた庁舎
- 方針3 誇りと親しみを感じられる庁舎

基本理念2

安全安心と柔軟性を備えた庁舎

- 方針4 災害発生時にも業務を円滑に継続できる庁舎
- 方針5 社会情勢の変化に対応できる庁舎
- 方針6 財政負担の軽減に配慮した庁舎

基本理念3

最先端かつ健全な市政を支える庁舎

- 方針7 地球環境にやさしい庁舎
- 方針8 効率的な職場環境が整った庁舎
- 方針9 議会機能が十分に発揮できる庁舎

<北庁舎及び新分庁舎>

- 北庁舎は、施設の長寿命化を目的として、基本理念を踏まえた大規模改修を実施します。
- 新分庁舎には、倉庫・書庫機能の集約と併せて、柔軟な施設利用が可能となる機能を整備します。



## 豊川市が目指す 新本庁舎の方向性

今後、庁舎整備を進めるため、3つの基本理念と9つの方針を相互に関連づけながら、最先端技術の導入や可変性等を考慮しつつ、一体的に検討していくものとします。

### 基本理念1 すべての人にやさしく開かれた庁舎

- 庁舎は様々な人が訪れる行政サービスの中核拠点であるため、スムーズに手続きでき、訪れた人が不便や不安を感じることのないよう、誰にとってもわかりやすく利用しやすい庁舎とします。
- 長い歴史の中で受け継がれた豊川らしさを踏まえた誇りと親しみを感じられる庁舎とします。

方針1	スムーズに手続きできる庁舎	窓口・相談機能	窓口サービス、総合案内、待合スペース等
方針2	誰もが利用しやすい開かれた庁舎	ユニバーサルデザイン	トイレ、授乳室、キッズスペース、案内・サイン等
		アクセス機能	駐車場、駐輪場、連絡通路、バス停留所等
		交流・学び機能	広場空間、市民交流スペース、情報発信スペース、周辺施設連携等
方針3	誇りと親しみを感じられる庁舎	デザイン・シンボル性	豊川らしさを受け継ぐデザイン・機能、景観との調和等
		利便機能	金融機関、コンビニ・カフェ、休憩スペース等



相談ブースのイメージ

### 基本理念2 安全安心と柔軟性を備えた庁舎

- 庁舎は市民の安全安心な暮らしを支える災害時の中枢拠点であるため、必要な耐震性能と耐久性能を備え、災害発生時にも業務を円滑に継続できる庁舎とします。
- 将来の組織変更や職員の増減など、行政の役割の変化に対応できる柔軟性を備えるとともに、ライフサイクルコストの削減に努めるなど、財政負担の軽減に配慮した庁舎とします。

方針4	災害発生時にも業務を円滑に継続できる庁舎	災害対策機能	災害対策本部、災害対応スペース、情報発信等
		バックアップ機能	ライフライン・情報システムバックアップ対策等
方針5	社会情勢の変化に対応できる庁舎	可変性	壁のない空間、多目的利用空間等
方針6	財政負担の軽減に配慮した庁舎	長寿命化	長寿命化に資する建築構造・設備、改修・修繕のしやすさ等

### 基本理念3 最先端かつ健全な市政を支える庁舎

- 庁舎は地域の先導的施設としての役割を有しているため、環境負荷の低減や地域産材の活用など地球環境にやさしい庁舎とします。
- 先端技術を積極的に導入し、市民サービスの向上や無駄のない効率的な職場環境、議会機能を実現し、健全な市政を支える庁舎とします。

方針7	地球環境にやさしい庁舎	環境機能	省エネルギー、再生可能エネルギー活用、ZEB対応等
		緑の空間・地域産材の活用	屋外緑化、地域産材の活用等
方針8	効率的な職場環境が整った庁舎	執務環境	執務室、共有スペース、会議室、福利厚生等
		文書管理・収納機能	書庫、倉庫、文書管理システム等
		情報・通信基盤	ICT活用、情報セキュリティ対策等
方針9	議会機能が十分に発揮できる庁舎	議会機能	議場、傍聴席、委員会室、議員控室、図書室等



オープンフロアの執務室のイメージ

## 整備スケジュール

新本庁舎の整備スケジュールは右記のとおり想定しています。

※整備手法、設計や事業の進捗状況等により変更が生じることがあります。

